

「働くお父さんの家族サービス」に関する実態調査を実施

妻が夫に伝えたい言葉は、「いつもありがとう」。

**夫の家族サービス、妻の評価は76点。夫の自己評価68点を上回る！**

～「働きすぎだから、休ませてあげたい有名人」は、ダントツの票数でスギちゃん～

【調査結果 トピックス】

◇働くお父さんの家族サービス（詳細:P2～7）

■**休日は、平日の疲労回復や自分の時間を取りたい気持ちを抑えて、家族のために時間を使う夫が62%。**

- ✓ 家事や育児などへの参加を、妻が思う以上に“当たり前”と考えて、献身的に取り組む夫の回答が多数。
- ✓ 「家族サービス」として夫が行っていることは、家事よりも「家族旅行」や「家族でのお出かけ」が上位。
- ✓ 夫が「仕事や家族サービス」に対して家族からねぎらってほしい方法上位3つ、「感謝の言葉」48%、「好きなことができる時間」44%、「睡眠」30%。一方、妻のねぎらいたい方法は、「睡眠」70%、「好きな飲食」68%、「感謝の言葉」66%と、感謝の気持ちはあるものの、少々ミスマッチな傾向。
- ✓ 言葉でねぎらいたいと思う妻 330人が自由回答で最も多く上げた言葉は「いつもありがとう」。124人、38%。

◇家族旅行の発案、準備、運転（詳細:P8～10）

■**助手席での居眠り、妻が思うより夫は寛容。「気にしない」68%、「むしろ静かで良い」10%。**

- ✓ 家族旅行に積極的な夫。67%が家族旅行の発案・決定者は夫自身と回答。
- ✓ 車で行く家族旅行、車の運転を「交替する妻」は42%。「不安で運転させない」夫は19%、「交代してくれない」と嘆く夫はわずか7%。
- ✓ 助手席では「（絶対+できるだけ）居眠りしない」妻が43%。一方で「気にしないで居眠りする」妻も34%。
- ✓ 運転中の夫がほっとする時は、「美しい景色」68%、「渋滞を抜けた時」57%、「目的地が近づいた時」36%。家族との関係では、「会話が楽しく弾んだ時」24%、「子供が眠っている時」23%。

【コラム】働きすぎだから／家族サービスしすぎだから、休ませてあげたい有名人（詳細:P11）

■**ダントツ1位！！「働きすぎだから、休ませてあげたい有名人」は、スギちゃん！**

- ✓ 2位は、『タモリ』。3位は『みのもんた』と、レギュラー番組で毎日出演の二人が並ぶ。
- ✓ 女性では、『芦田愛菜』が5位、『AKB48』が6位と続く。

■**「家族サービスしすぎだから、休ませてあげたい男性有名人」は、佐々木健介がトップ。**

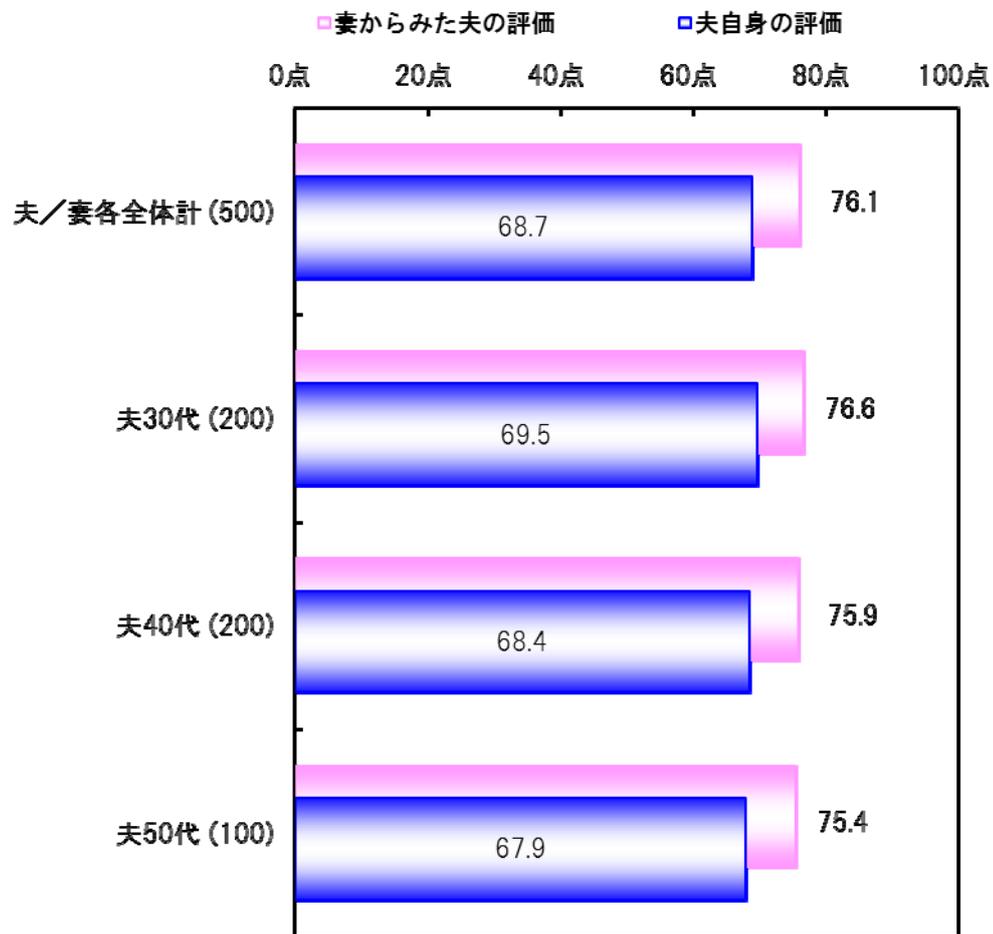
- ✓ 2位は、“育メン”でお馴染みの『つるの剛士』。3位は、“元祖”恐妻家！？のイメージの『野々村真』。

※調査概要・データについては、次頁以降に記載しております。

## 夫の家族サービス： 夫の自己評価と妻の満足度評価

●夫の家族サービス、妻の評価は 76 点。夫の自己評価 68 点を上回る。

- Q. **夫調査** あなたご自身として、家族サービスをどの程度しているとお感じでしょうか。
- Q. **妻調査** 配偶者(夫)の実行されている家族サービスをどの程度満足していらっしゃいますか。  
100 点満点として数字でお答えください。(自由回答)



( )は標本数

夫の家族サービスに対して、どの夫年代でも、妻の評価が夫自身の評価より高い結果となりました。

## 休日の過ごし方： 夫の意向と実際

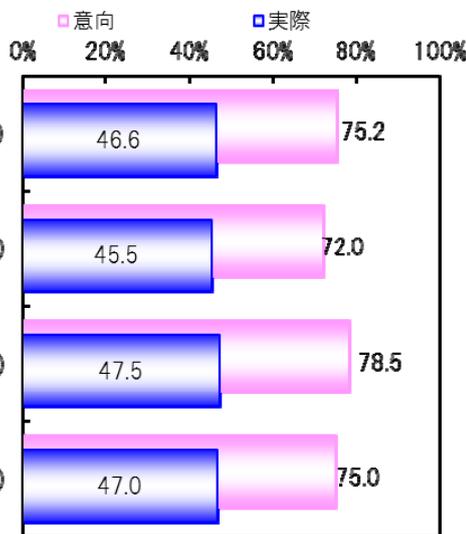
● 休日は、平日の疲労回復や自分の時間を取りたい気持ちを抑えて、家族のために時間を使う夫が62%。

Q. **夫調査** 休日の過ごし方について教えてください。（「あてはまる」～「あてはまらない」を5段階で回答）

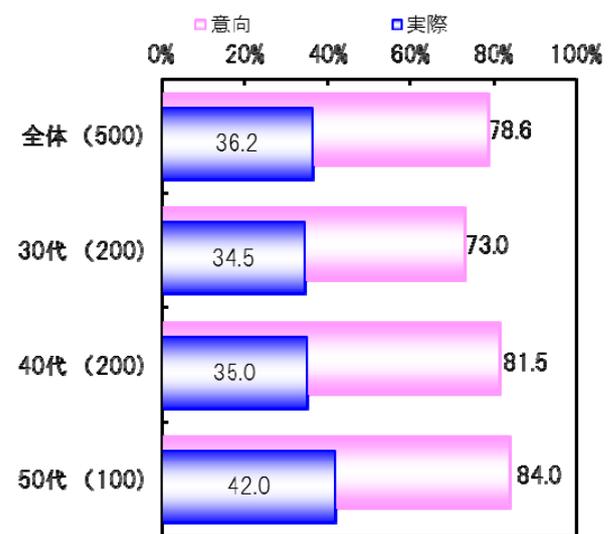
- 意向
- 1) 平日の疲れを取るためにゆっくり、のんびりと過ごしたい
  - 2) 自分のしたいことに時間を使いたい
  - 3) 平日時間が取れていない分、家族のために時間を使いたい

- 実際
- 1) 休日は平日の疲れをとるために、ゆっくり、のんびり過ごしている
  - 2) 休日は自分のしたいことに十分時間を使っている
  - 3) 休日は家族のために十分時間を使っている

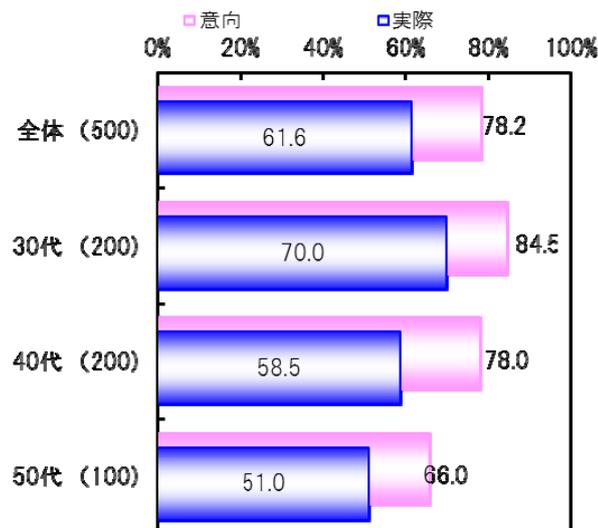
1) 平日の疲れを取る



2) 自分のしたいことに時間を使う



3) 家族のために時間を使う



( )は標本数

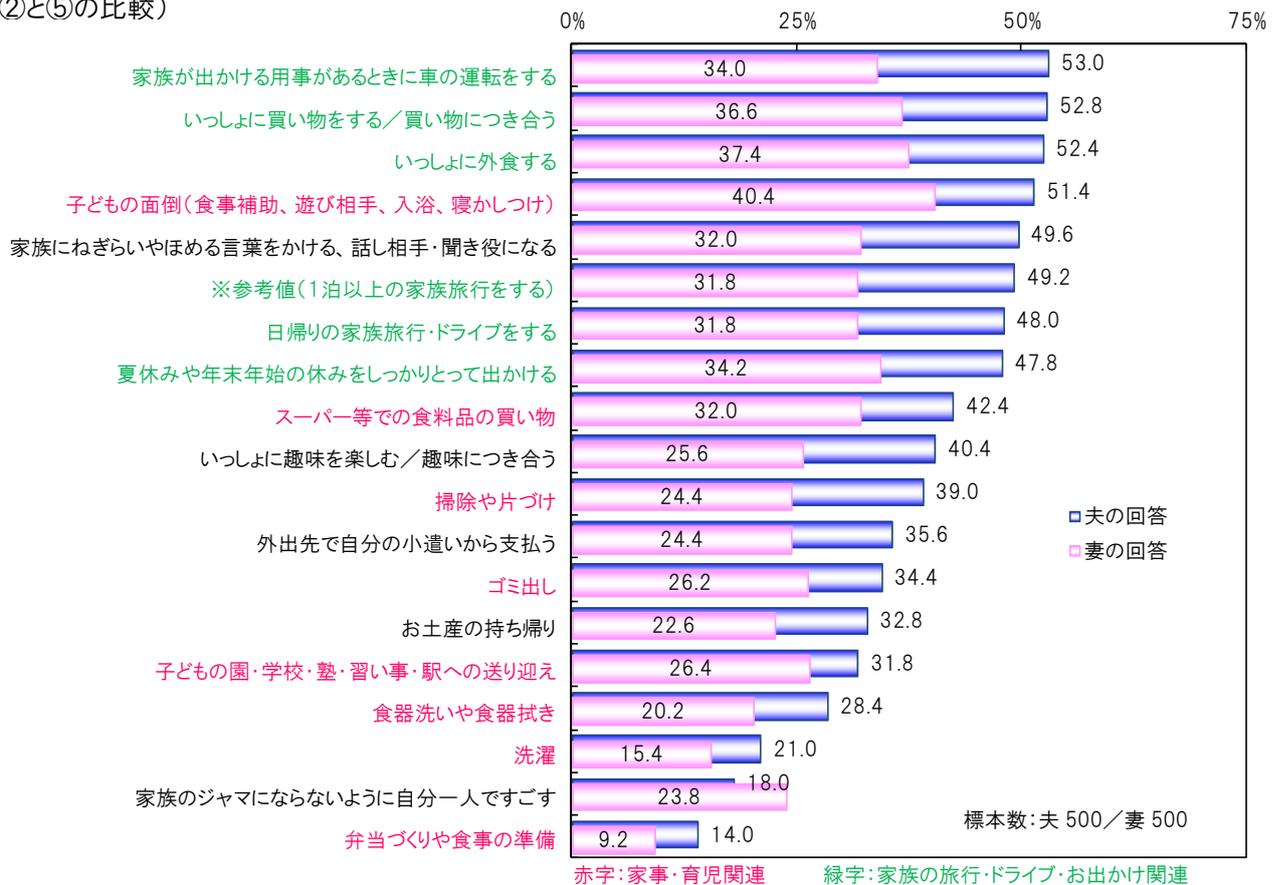
休日の過ごし方は「平日の疲労回復」「自分の時間」「家族のための時間」のいずれにも8割弱のほぼ同レベルの意向があるものの、家族のための時間を優先にした休日を過ごす夫の姿が、特に若い層ほど顕著にみられます。これは、お子さんが乳幼児で手がかかる世代であるためと推測されます。（夫年代別の学齢データより）。

## 「家庭をもつ以上当たり前のこと」として、夫が家庭で実践していること

### ●家事や育児などへの参加を、妻が思う以上に“当たり前”と考えて、献身的に取り組む夫の回答が多数。

- Q. **夫調査** あなたがご家庭で実践されていることについて、どのようなお気持ちでなさっているかを項目ごとに具体的にお教えてください。(各項目単数回答)
- ① 家族サービスとしてやっている
  - ② 家庭をもっている以上当たり前のこととしてやっている
  - ③ 積極的にはやっていない／していない
- Q. **妻調査** 配偶者(夫)がご家庭で実践されていることについて、どのようなご意見・ご感想をお持ちかを項目ごとに具体的にお教えてください。(各項目単数回答)
- ④ 家族サービスとして配偶者(夫)が自発的にやっている
  - ⑤ 家庭をもっている以上配偶者(夫)はやって当たり前のことを行っている
  - ⑥ 現在やっていないが配偶者(夫)にやってほしい
  - ⑦ 現在も今後も配偶者(夫)はやらなくてよい

### ◇「当たり前のこと」として夫が家庭で実践していること(夫婦比較) ※「1泊以上の家族旅行」は対象者条件のため参考値 (②と⑤の比較)



夫が家庭や家族のためにすることを、「当たり前」とみる傾向が妻よりも夫自身に強いようです。唯一、夫が「家族のジャマにならないように自分一人ですごす」のを「当たり前」とみる妻が夫自身より多いことが例外です。

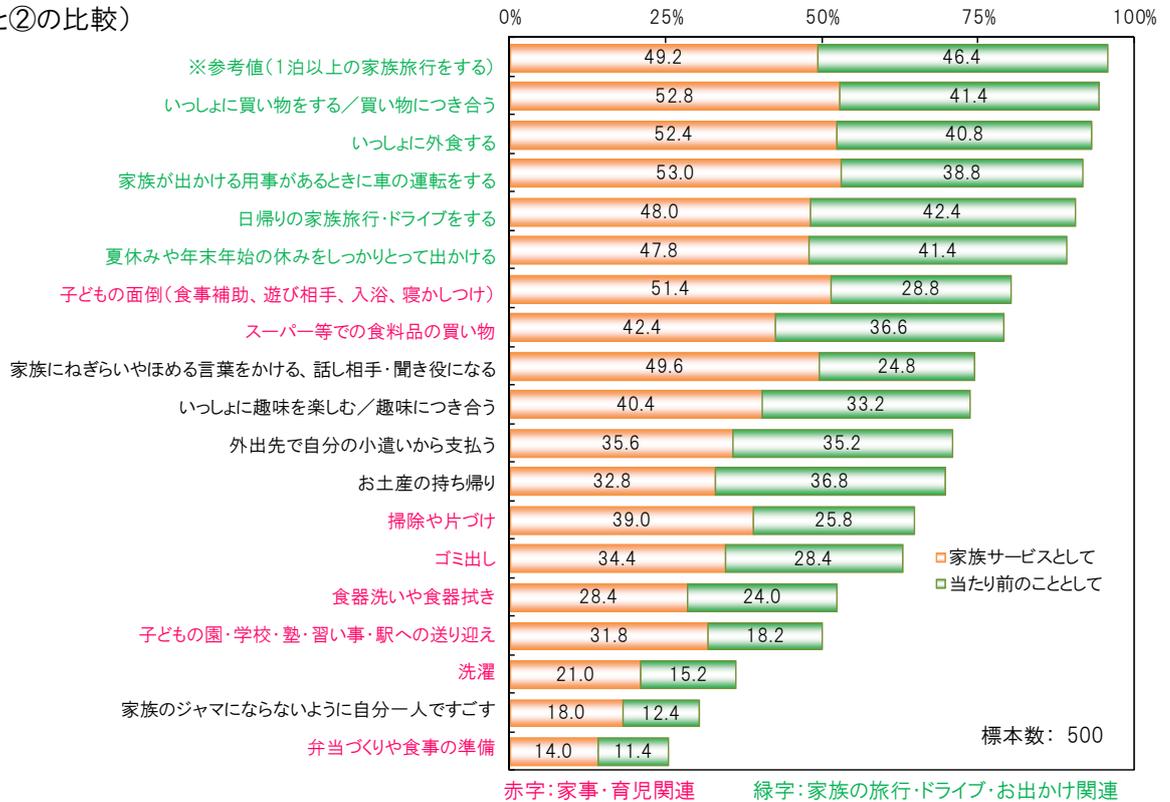
次ページの行動別夫の実践率をみると、夫、妻ともに、家族の旅行、ドライブ、お出かけ関連行動のほうが家事・育児関連よりも上位に上がってきており、平日よりも休日に重点があることがみてとれます。

また、妻は夫の実践行動を「家族サービス」とみる傾向が強く、肯定的に受け取っているようです。

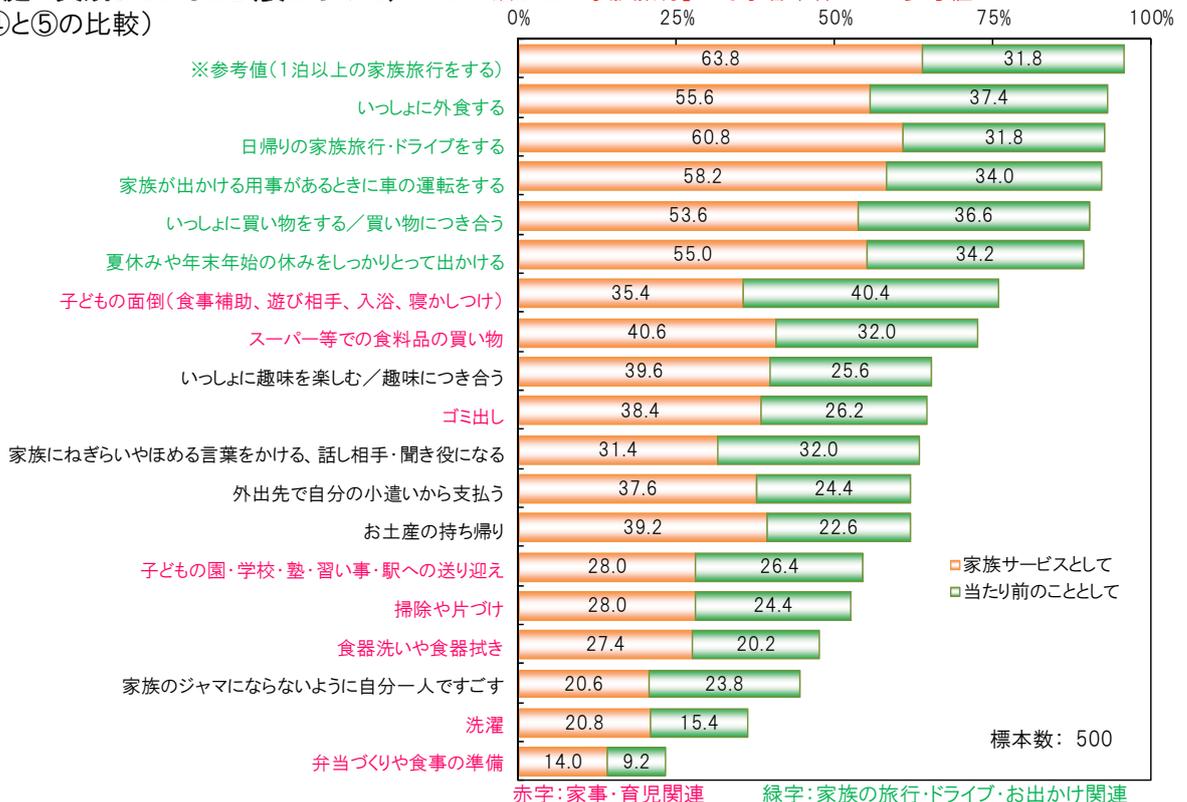
## 夫が家庭で実践していることの実践率と捉え方

●「家族サービス」として夫が行っていることは、家事よりも「家族旅行」や「家族でのお出かけ」が上位。

◇夫が家庭で実践していること(夫自身からみて) ※「1泊以上の家族旅行」は対象者条件のため参考値  
(前頁①と②の比較)



◇夫が家庭で実践していること(妻からみて) ※「1泊以上の家族旅行」は対象者条件のため参考値  
(前頁④と⑤の比較)



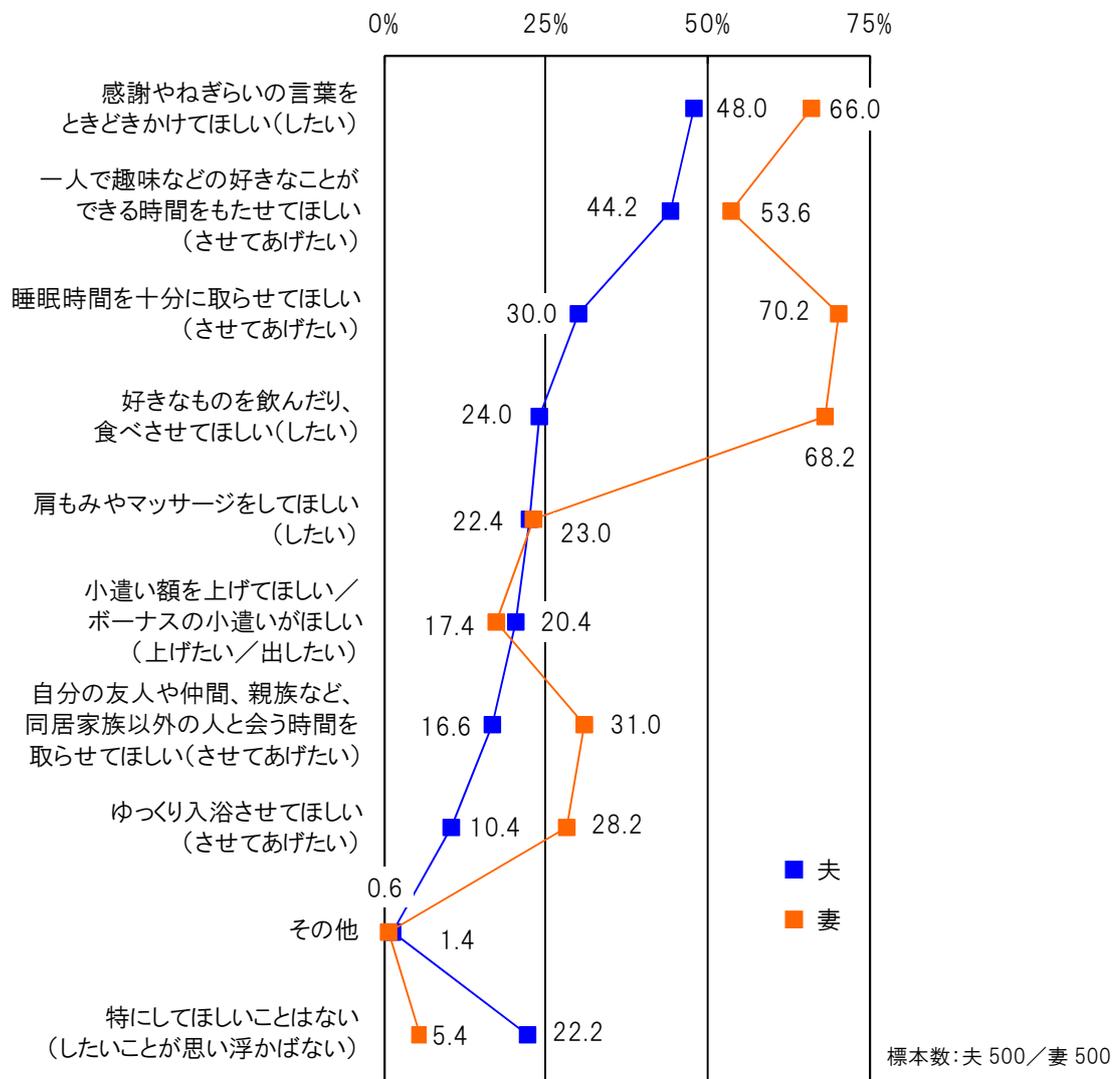
## 夫の普段の仕事・家族サービスに対するねざらい方

●夫が「仕事や家族サービス」に対して家族からねざらしてほしい方法上位3つ、「感謝の言葉」48%、「好きなことができる時間」44%、「睡眠」30%。一方、妻のねざらいたい方法は、「睡眠」70%、「好きな飲食」68%、「感謝の言葉」66%と、感謝の気持ちはあるものの、少々ミスマッチな傾向。

Q. **夫調査** あなたの普段の仕事や家族サービスに対して、ご家族からどんな形でねざらしてほしいとお思いでしょうか。（複数回答）

Q. **妻調査** 配偶者(夫)の普段の仕事や家族サービスに対して、どんな形でねざらいたいとお思いでしょうか。（複数回答）

◇夫に対するねざらい方(夫がしてほしいこと:妻がしたいこと)



どのねざらい方をみても、概ね、妻の「したい率」が夫を上回っており、夫自身がしてほしいと思う以上に妻のねざらいたい気持ちが強いことが分かります。特に「睡眠」「好きな飲食」については夫婦の意識の違いが目立ちます。

夫としては、感謝の声をかけてもらったなら、あとは好きに過ごしたいと思っているようです。

## 参考：夫の普段の仕事・家族サービスに対するねざらい方

### ◇夫の年代別詳細データ

夫がしてほしいこと	標本数	(%)									
		き感謝やねざらいつきかけてほしい言葉をと	ほといできる時間をの好きな	ほ睡眠時間を十分に取らせて	べ好きなものを飲んだり、食	ほ肩もみやマッサージをして	ポ小遣いの額を上げてほしい／	うど自分の友人や仲間、親族な	ゆつくり入浴させてほしい	その他	特にしてほしいことはない
夫全体	500	48.0	44.2	30.0	24.0	22.4	20.4	16.6	10.4	1.4	22.2
夫 30代	200	56.5	48.5	34.5	25.0	25.5	24.5	22.5	14.5	2.0	14.5
夫 40代	200	43.5	43.5	34.5	25.0	19.5	22.0	15.0	8.5	1.0	24.5
夫 50代	100	40.0	37.0	12.0	20.0	22.0	9.0	8.0	6.0	1.0	33.0

※「全体」で降順ソート

妻から夫へしたいこと	標本数	(%)									
		あ睡眠時間を十分に取らせて	べ好きなものを飲んだり、食	き感謝やねざらいつきかけてほしい言葉をと	あとで趣味的なものを飲んだり、食	うど自分の友人や仲間、親族な	ゆつくり入浴させたい	い肩もみやマッサージをした	ナ小遣いの額を上げたり、ポ	その他	ば特にしてほしいことはない
妻全体	500	70.2	68.2	66.0	53.6	31.0	28.2	23.0	17.4	0.6	5.4
夫 30代	200	70.5	67.0	64.5	54.0	34.5	29.5	25.0	21.5	1.0	4.5
夫 40代	200	72.5	67.0	68.5	52.0	28.0	25.0	21.5	14.5	0.0	6.0
夫 50代	100	65.0	73.0	64.0	56.0	30.0	32.0	22.0	15.0	1.0	6.0

※「全体」で降順ソート

### ◇夫へ伝えたい感謝やねざらいの言葉(自由回答) ※「感謝やねざらいの言葉をときどきかけたい」と回答した妻への質問

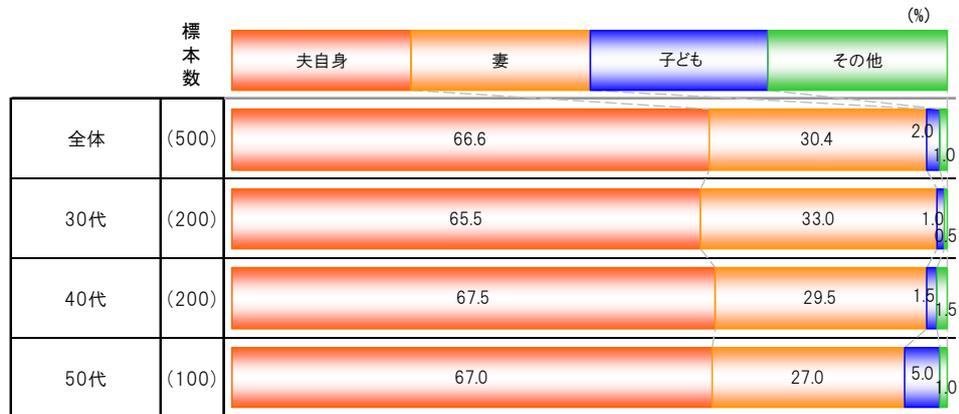
- |                           |               |         |
|---------------------------|---------------|---------|
| ①いつもありがとう／いつも〇〇してくれてありがとう | … 124 (37.5%) | ※複数回答あり |
| ②ありがとう／〇〇してくれてありがとう       | … 83 (25.2%)  |         |
| ③お疲れさま                    | … 51 (15.5%)  |         |
| ④ご苦労さま                    | … 31 (9.4%)   |         |
| ⑤助かります／助かる                | … 11 (3.3%)   |         |
| ⑥おかげです／〇〇のおかげ             | … 6 (1.8%)    |         |
| ⑦幸せ                       | … 4 (1.2%)    |         |

特に夫年代が若いほど「言葉によるねざらい」が重要であると同時に、妻にしてほしいことが多くあるようです。一方、妻の年代比較では、50代の夫をもつ妻は「好きな飲食」がトップなのに対して、30代・40代では「睡眠時間」がトップと違いがみられます。また、30代の夫をもつ妻は、「金銭のごほうび」について他の年代より寛大であることが分かりました。

## 家族旅行の決定者と車で行く場合の運転交代

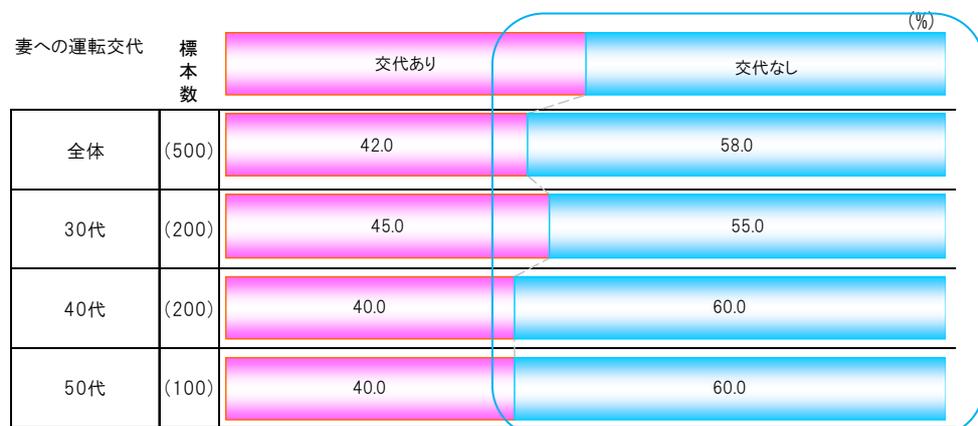
●家族旅行に積極的な夫。66%が家族旅行の発案・決定者は夫自身と回答。

Q. **夫調査** 家族旅行は、誰の発案で決まることが多いですか。(単数回答)

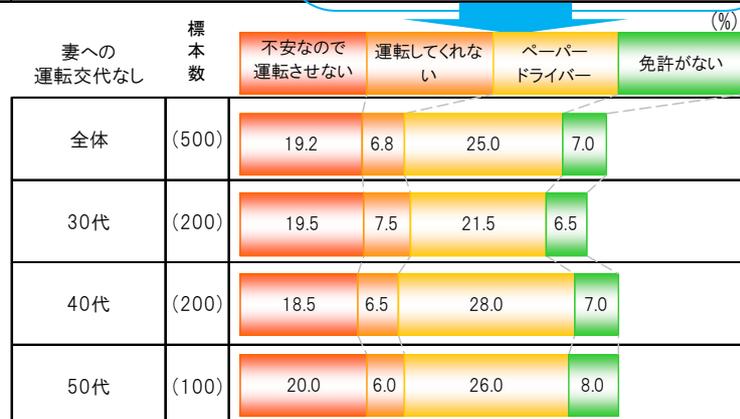


●車で行く家族旅行、車の運転を「交替する妻」は 42%。「不安で運転させない」夫は 19%、「交代してくれない」と嘆く夫はわずか 7%。

Q. **夫調査** <車で行く1泊以上のお子様連れ家族旅行>で、車を配偶者(妻)が運転されることはどのくらいありますか。(単数回答)



■妻に運転を交代しない理由  
(「交代なし」の内訳)



家族旅行の発案・決定者はどの年代でも夫が7割近くにのぼっています。  
一方、子ども連れ家族旅行の運転交代は、30代の夫の交代率が45%と他の年代より高い傾向がみられます。

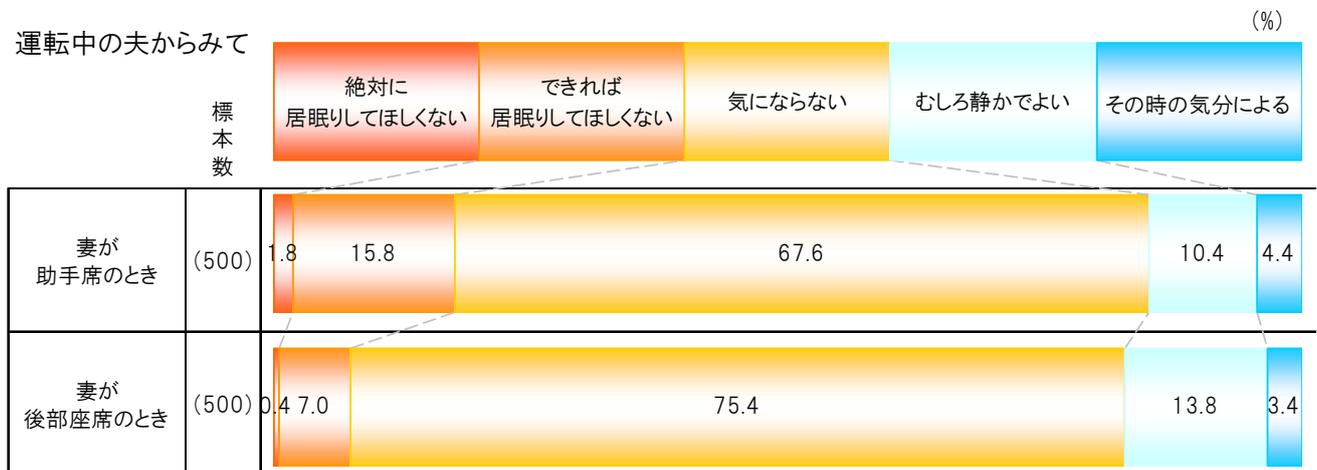
## 車で行く家族旅行、助手席・後部座席での居眠り意識

- 助手席での居眠り、妻が思うより夫は寛容。「気にしない」68%、「むしろ静かで良い」10%。
- 助手席では「(絶対+できるだけ)居眠りしない」妻が43%。一方で「気にしないで居眠りする」妻も34%。

Q. **夫調査** <車で行く1泊以上のお子様連れ家族旅行>であなたご自身が運転されている時、同乗するご家族の居眠りをどのようにお感じになりますか。それぞれの場面についてお教えてください。

Q. **妻調査** <車で行く1泊以上のお子様連れ家族旅行>で配偶者(夫)が運転されている時、同乗する家族の居眠りをどのようにお感じになりますか。それぞれの場面についてお教えてください。(各項目単数回答)

### ◇運転中の夫からみた「妻の居眠り」



### ◇妻自身からみた「夫が運転中の自分の居眠り」

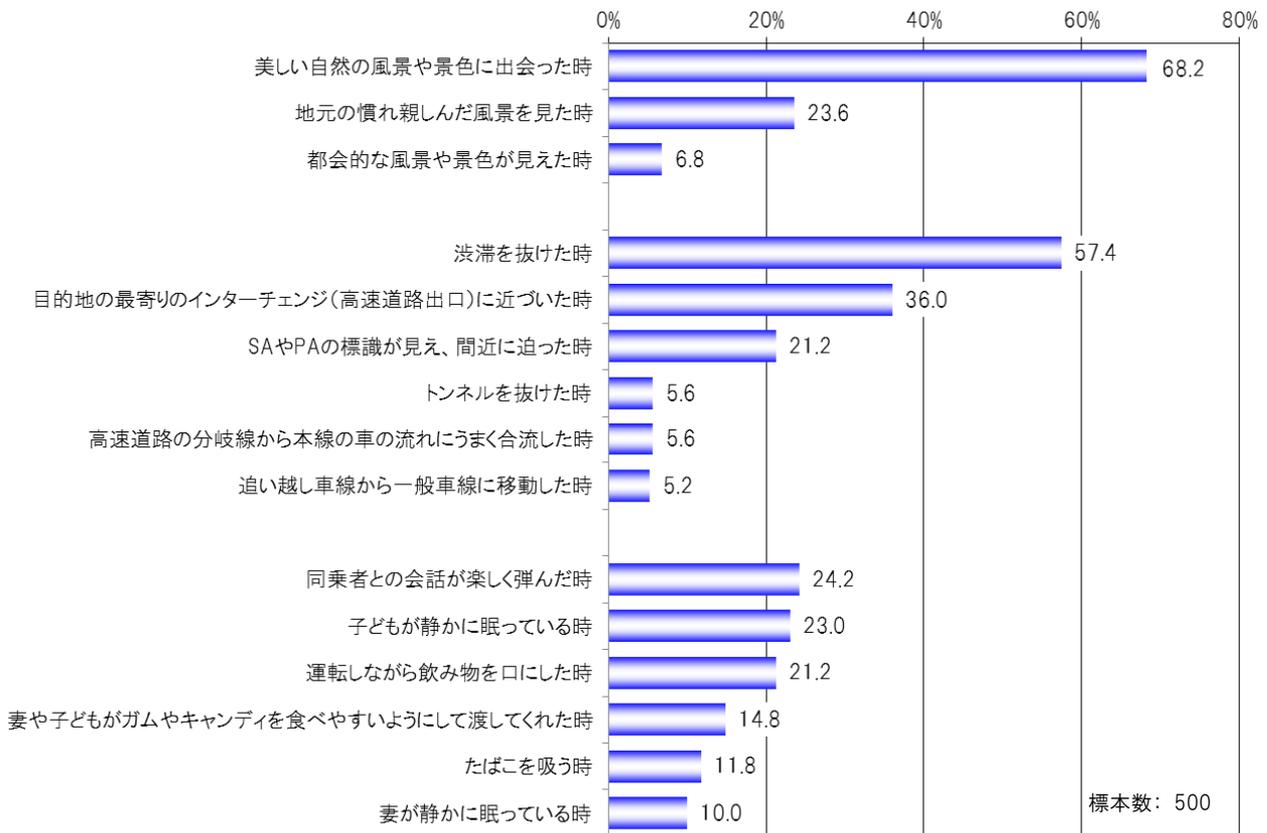


「気にしない」という夫が過半数を占めるとはいえ、後部座席よりも助手席での妻の居眠りは、運転中の夫にとってやや気になる傾向があります。妻自身も居眠りをしないように気を配っている様子が見えます。

## 車で行く家族旅行、ホッとする瞬間・時間

● 運転中の夫がほっとする時は、「美しい景色」68%、「渋滞を抜けた時」57%、「目的地が近づいた時」36%。  
 家族との関係では、「会話が楽しく弾んだ時」24%、「子供が眠っている時」23%。

Q. 夫調査 <車で行く 1泊以上のお子様連れ家族旅行>であなたご自身が運転される時に、ホッとする時間や瞬間をお教えてください。(複数回答)



(%)

■ 年代別

	標本数	美しい自然の風景や景色に出会った時	渋滞を抜けた時	目的地の最寄りのインターチェンジ(高速道路出口)に近づいた時	同乗者との会話が楽しく弾んだ時	子どもが静かに眠っている時	運転しながら飲み物を口にしたりした時	インディアンや子どもがガムやキャンディを食べたい時
全体	500	68.2	57.4	36.0	24.2	23.0	21.2	14.8
30代	200	62.5	53.5	38.0	24.0	29.5	27.0	18.5
40代	200	69.0	60.5	36.5	26.0	23.5	17.5	12.5
50代	100	78.0	59.0	31.0	21.0	9.0	17.0	12.0

「美しい景色」は50代が8割近くと、年代が上がるにつれ高まっています。一方、30代は「子どもが眠っている時」が3割近くと高い傾向がみられます。さらに30代では、運転中の飲み物や家族の気遣いが他の年代よりホッとする時間になっている様子がうかがえます。

## 「休ませてあげたい、ねぎらってあげたい有名人」

- ダントツ1位！！「働きすぎだから、休ませてあげたい有名人」は、スギちゃん！
- 「家族サービスしすぎだから、休ませてあげたい男性有名人」は、佐々木健介がトップ。

Q. 夫婦調査共通 家族サービスをしすぎなので「休ませてあげたい、ねぎらってあげたい」、働きすぎなので「休ませてあげたい、ねぎらってあげたい」と思う有名人を一人ずつ教えてください。(自由回答)

◇働きすぎなので「休ませてあげたい、ねぎらってあげたい」と思う有名人(男女不問)

		夫	妻	夫妻計
1位	スギちゃん	60	57	117
2位	タモリ	25	27	52
(2位)	みのもんた	33	19	52
4位	明石家さんま	25	23	48
5位	芦田愛菜	10	11	21
6位	AKB48	12	7	19
7位	嵐	5	10	15
8位	有吉弘行	7	5	12
9位	ベッキー	7	4	11
10位	木村拓哉	5	5	10

「スギちゃん」は夫妻ともに1位で、2位の「タモリ」の2倍以上の票を獲得しました。夫の票が多いのは「みのもんた」「AKB48」、他方、妻の票が多いのは「嵐」でした。

◇家族サービスしすぎなので「休ませてあげたい、ねぎらってあげたい」と思う有名人(男性)

		夫	妻	夫妻計
1位	佐々木健介	46	36	82
2位	つるの剛士	26	32	58
3位	野々村真	19	8	27
4位	薬丸裕英	10	12	22
5位	土田晃之	8	9	17
(5位)	石田純一	10	7	17
(5位)	峰竜太	10	7	17
8位	関根勤	4	7	11
9位	木村拓哉	4	6	10
(9位)	勝俣州和	4	6	10
(9位)	杉浦太陽	1	9	10

「佐々木健介」は夫妻ともに1位ですが、夫の票を多く集めています。3位の「野々村真」は、夫の票が妻の倍以上になっているのが目を引きます。一方、2位の「つるの剛士」は妻の票がやや多めです。

■調査概要

- (1)調査テーマ: 「働くお父さんの家族サービス」に関する調査
- (2)有効回答数: 夫婦 500 組 1000 サンプル ※夫の年代割付あり
- (3)調査対象者: 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県)在住で、フルタイムで働き子どもがいる夫、およびその妻  
 ※3ヵ月以内に1泊以上の車による家族旅行(国内:高速道路利用)をした  
 ※1泊以上の子連れ家族旅行で行程の半分以上を夫が運転する
- (4)有効標本数とその内訳(人):

夫の年代	夫婦	計
30代	200組	400名
40代	200組	400名
50代	100組	200名
計	500組	1000名

- (5)調査方法: WEB アンケート調査(夫はリサーチ登録パネル使用/妻は夫から協力を依頼)
- (6)調査期間: 2012年9月28日(金)~10月4日(火)

■対象プロフィール



【子どもの学齢】

